

花火大会の開催 に関する提案書

はじめに

地域活性化促進のイベントとして花火大会があります。日本では古くから花火大会が全国各地で開催されており、夏の風物詩にもなっています。

しかしながら、近年はその花火大会が中止される事が多くなってまいりました。その背景には様々な要因があると考えられます

観覧客の未秩序、例えば場所取り、ゴミ放置、違法駐車などが問題視されそれらの対策に多額な負担が強えられることも一つの要因であると考えられます。

もちろん、台風、ゲリラ豪雨といった悪天候、などで中止になった場合の損害費用の負担などもあろうかと思えます

こうした理由で花火大会が中止になることは、その地域の魅力を低下させることに繋がりがねません
こうした花火大会の多くは自治体（もしくは外郭団体）によって運営されている事が多く諸条件など増加する費用に対応することが難しくなってきたきていると思えます

近年はこうした状況から、民間主体で有料花火大会が増えてきました。

近隣では2015年に「名港水上芸術花火」が初開催され、有料客約9000人、協賛社は約40社1300万円以上集まりました

またこの年は収益から寄附もさせていただくことができました・

この「名港水上芸術花火」は年々認知されコロナ禍以前は収容人員いっぱいの16,000人、協賛社は70社以上2200万以上集まりました

コロナ禍では2回開催し収容人数50%制限があるなか協賛社は3000万以上にまで成長いたしました。

無料観客も同地区で開催される「みなと祭り」にくらべ圧倒的に少なく2000名前後でした。

花火大会の開催は地方自治体の観光資源であり、地元の要望も強いと思われれます

また、花火大会の開催は地方自治体にとって事故などのリスクも大きな要因であるうえ、開催に伴う大きな資金が必要な事業であり、警備費用の負担は大きなものであります

これらの事から考えられるのは、地方自治体の負担を軽減し、民間が主催することで様々なリスクを回避でき、且つ集客による経済効果、観光資源の開発を提案させていただきます

提案する花火大会の概要

ユニバーサルミュージックの誇る大人気アーティストやレーベルとのコラボレーションを行い約60分の全編を通して音楽とシンクロした花火を打ち上げる、花火ファンのみならず音楽ファンにも訴求する新しい花火大会です。

誰もが聴いたことのある有名なアーティストの楽曲に合わせて打ち上がり、開花するその花火は、滞空時間や消えのタイミングまでを計算に入れたもので、観る者を音楽と花火の世界に強く引き込みます。

またオフィシャル花火としてアーティストに公認された花火大会となりますので、全国のアーティストのファンに開催地区をアピールすることができます。

開催に際しては、万全なコロナ対策を実施したうえで、全席を有料・指定とすることにより入退場時の混乱を最小限に抑え、安心安全な運営を行います。

開催目的

① 地域振興に寄与する新たな市民レクリエーションの創出

地域の一大イベントとするため、地元の市民・企業の方に中心となってご参加いただき地元関係者が中心となった応援団体を組織し、地域経済活性化の一助となる様にいたします。

② 観光振興に寄与する新たな賑いの創出

新しいコンテンツによって、開催地域の活性化とイメージアップを行い若い世代への魅力アピールに貢献いたします

③ 全国開催により国内観光消費増と県外移動リスク減を目指し経済活動再開に寄与する

全国各地（10余か所を予定）での開催によって大人数の遠方への移動を避けながら、開催地周辺の経済活動を促します

④ 社会への貢献

開催地区の皆様と相談の上、地域の現状に即し最もお役に立てる善意の団体へ興行の売り上げの一部を寄附いたします。

また、児童養護施設の子供達を招待し、楽しい時間をすごしてもらい夢や希望をはぐくみ未来につながるようにします

開催時期

2023年秋もしくは2024年春に初回

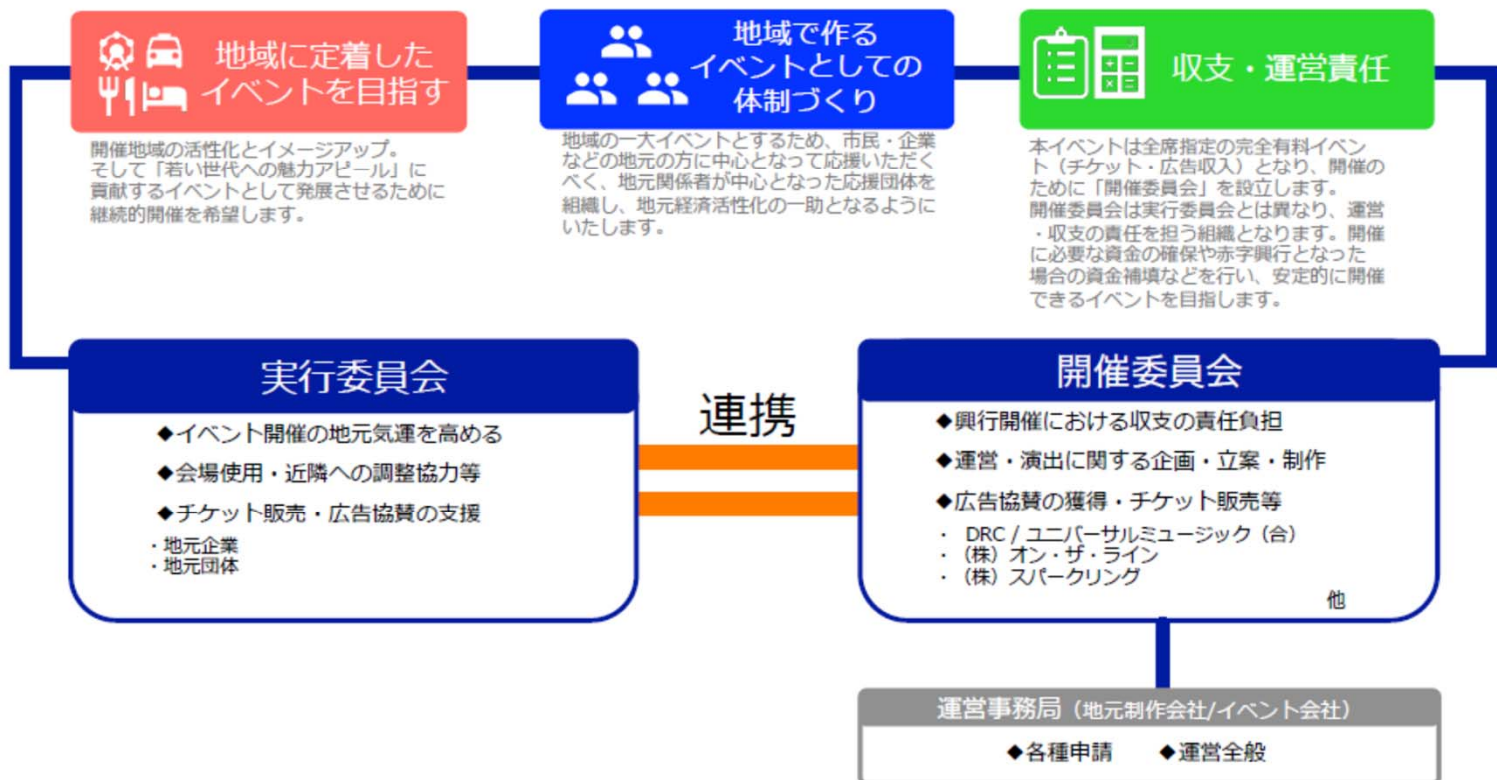
以後毎年1回開催予定

今後のコンテンツ展開（予定）

- ・ QUEEN
- ・ Disney
- ・ ABBA 等 . .

実施体制および取り組み（案）

実施体制



開催地への取り組み

事前周知の徹底

- ・ 開催地区長、地域住民への挨拶（主旨説明）
- ・ 周辺住民自治会への協力を要請し、連携をしてイベントの開催準備を行う。
- ・ 新聞折込、ポスター掲載、ポスティングなどを行い開催案内の事前周知を行う。

開催地住民からの苦情対応

- ・ 開催委員会本部内に近隣対策用の専用電話を設置し、電話対応スタッフを配置。（イベント開催日の2日前～を想定。）
- ・ 警察署、近隣住宅、近隣施設に専用電話の電話番号を記載した事前案内の掲出を行う。

イベント開催当日の運営

- ・ 最寄りの公共交通機関の駅から会場までの来場者導線に警備員を配置し、交通整理を行う。
- ・ 会場周辺、駅から会場までの来場者導線の清掃を行う。（開催日の夜間、翌日早朝の2回実施）
- ・ 会場周辺、駅から会場までの来場者導線にゴミステーションを設置し係員を配置。
- ・ 音量の測定

チケットの優先購入

- ・ イベントオフィシャルプレイガイドにて開催地住民へ優先的にチケットを発売

開催地とのコラボレーション

- ・ 現地自治体と相談の上で決定

イベント終了後

- ・ 御礼のご挨拶
- ・ 反省会の実施（開催地からの意見聴取）

桑名水郷花火との比較

←住吉神社(1)

SP台(W900x D900)x45基

立ち入り禁止柵エリア

桑名花火 2022

会場図面

桑名市

2022年10月日0

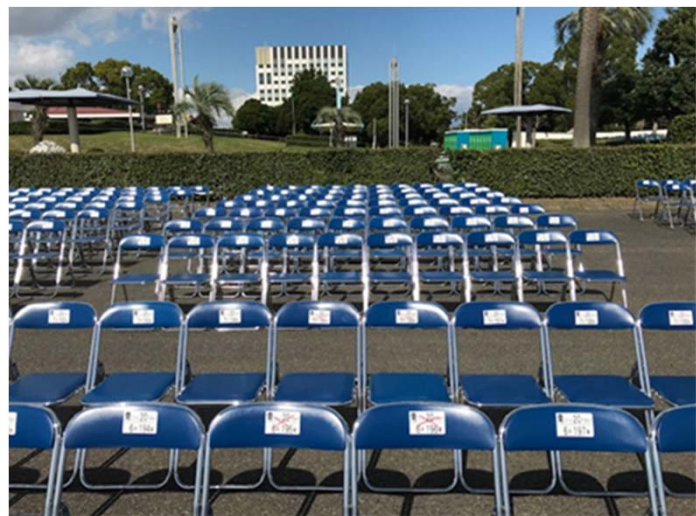
1/800

KAWASAKI

KOBE

TOKAI CREATE Co.,Ltd.

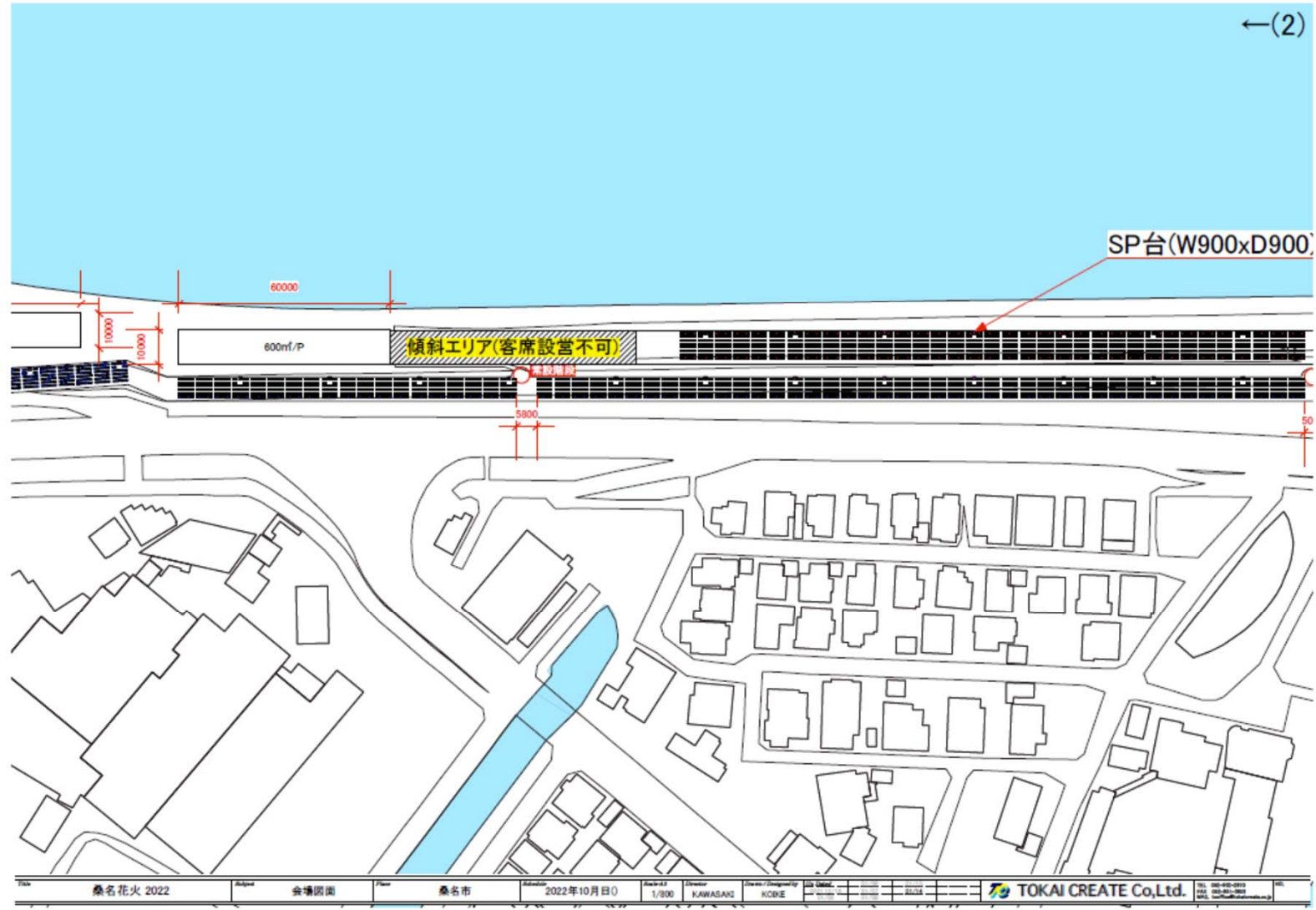
従来の特別招待スペース付近



イメージ

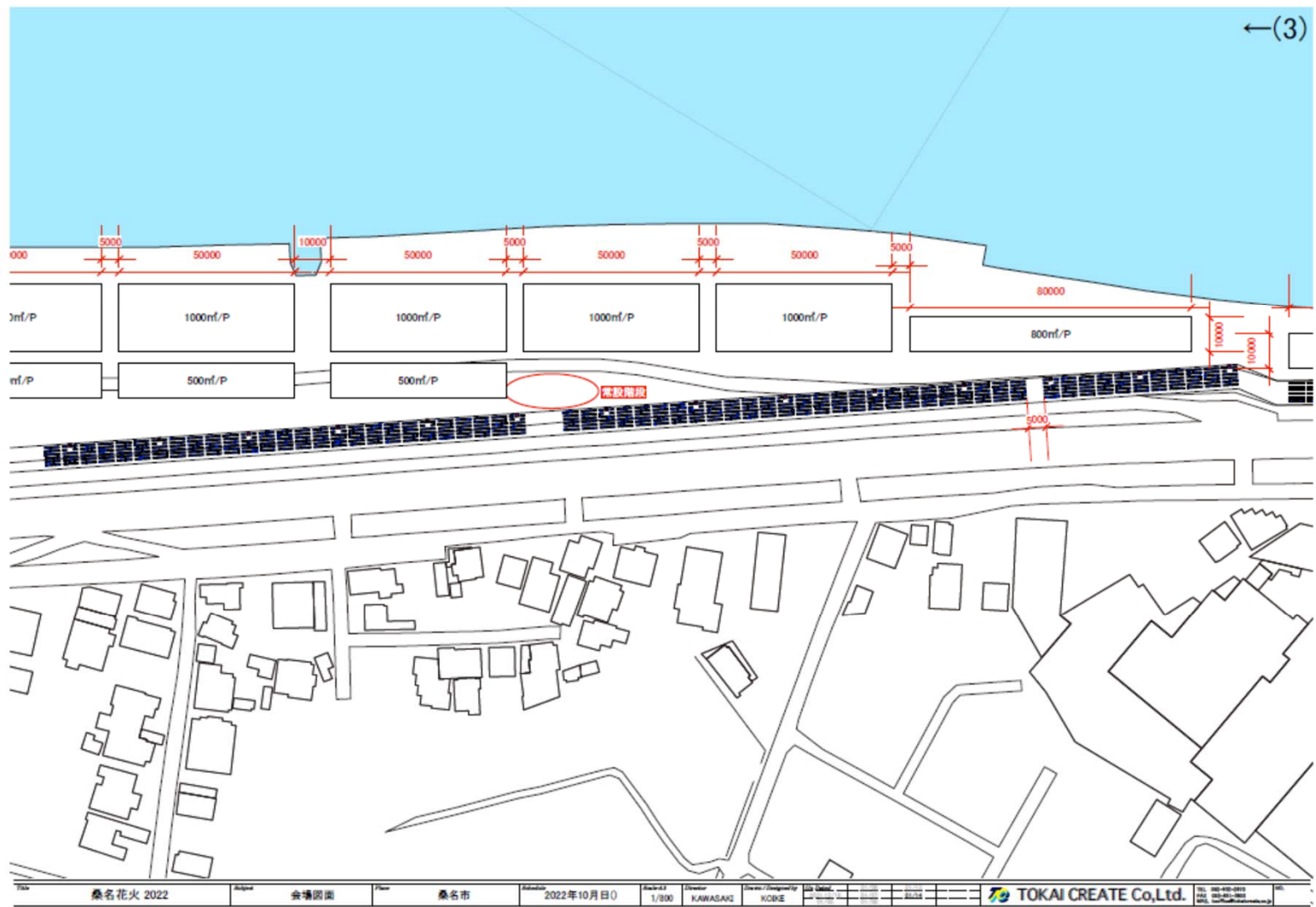
桑名水郷花火との比較

←(2)



従来の河川敷椅子席付近

桑名水郷花火との比較



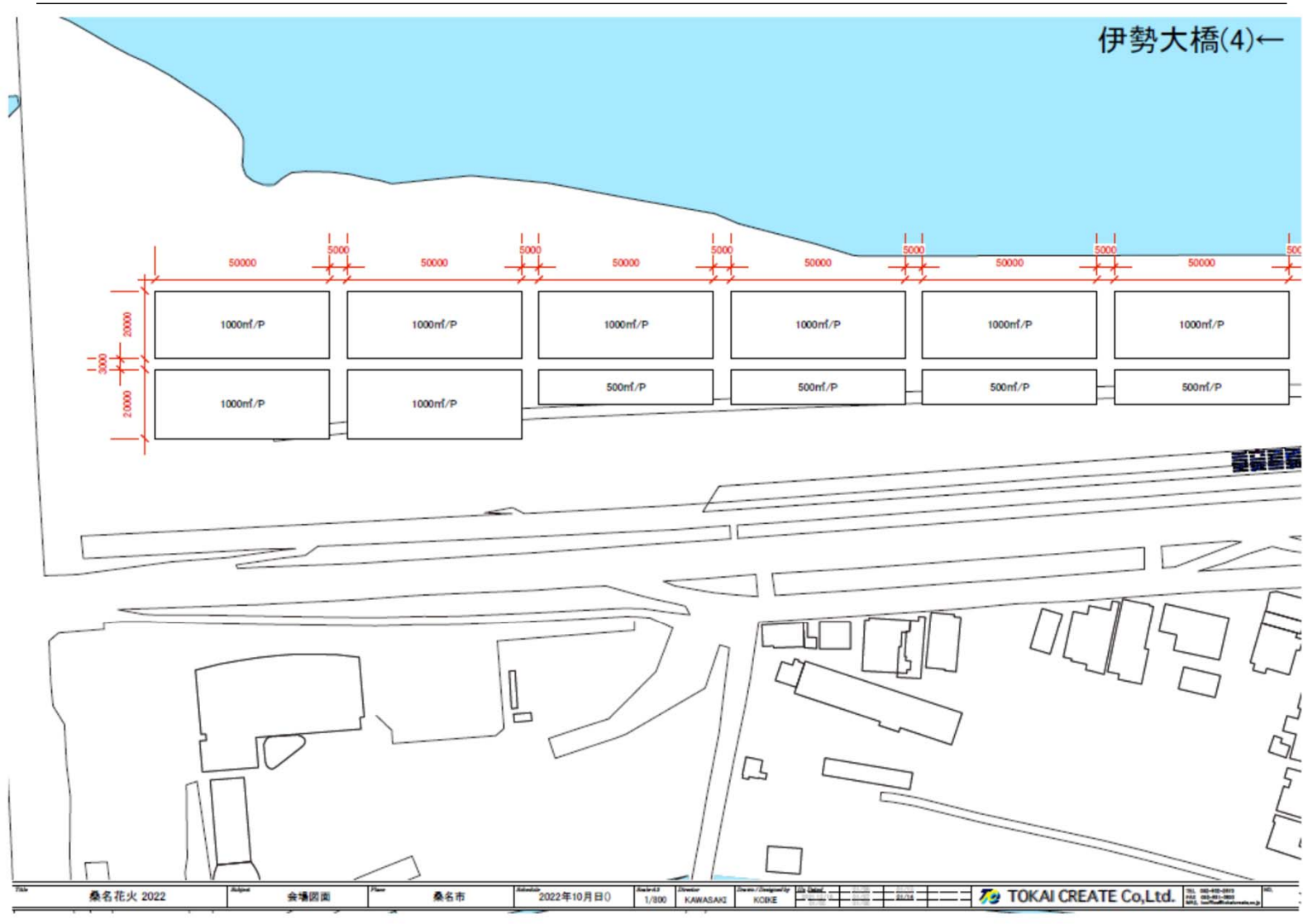
従来の一般招待スペース付近



内は

- パイプ椅子席以外はエリア内位置指定
- グループ単位で販売（5名程度を想定）
- パイプ椅子無し

桑名水郷花火との比較



従来の無料観覧スペース付近
市民割引きなどを検討（体験）

桑名水郷花火との比較

会場レイアウト (全体)

2019年度
桑名水郷花火大会会場図

打上場所

協賛者・有料席拡大図

個人向け有料席(河川敷椅子席)
午後6時開場予定

自由観覧スペース(河川敷)

個人向け有料席(堤防・駐車場)
午後4時開場予定

協賛者席(河川敷)
午後6時開場予定

打上り椅子席

マスコット

13:00

16:00

当日シート

マス席

一般招待 (協賛)

特別招待 (協賛)

会場レイアウト (招待席・河川敷椅子席詳細)

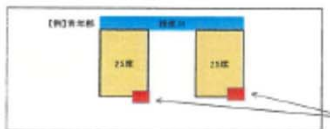


令和元年度桑名水郷花火大会 特別招待席並び順

揖斐川

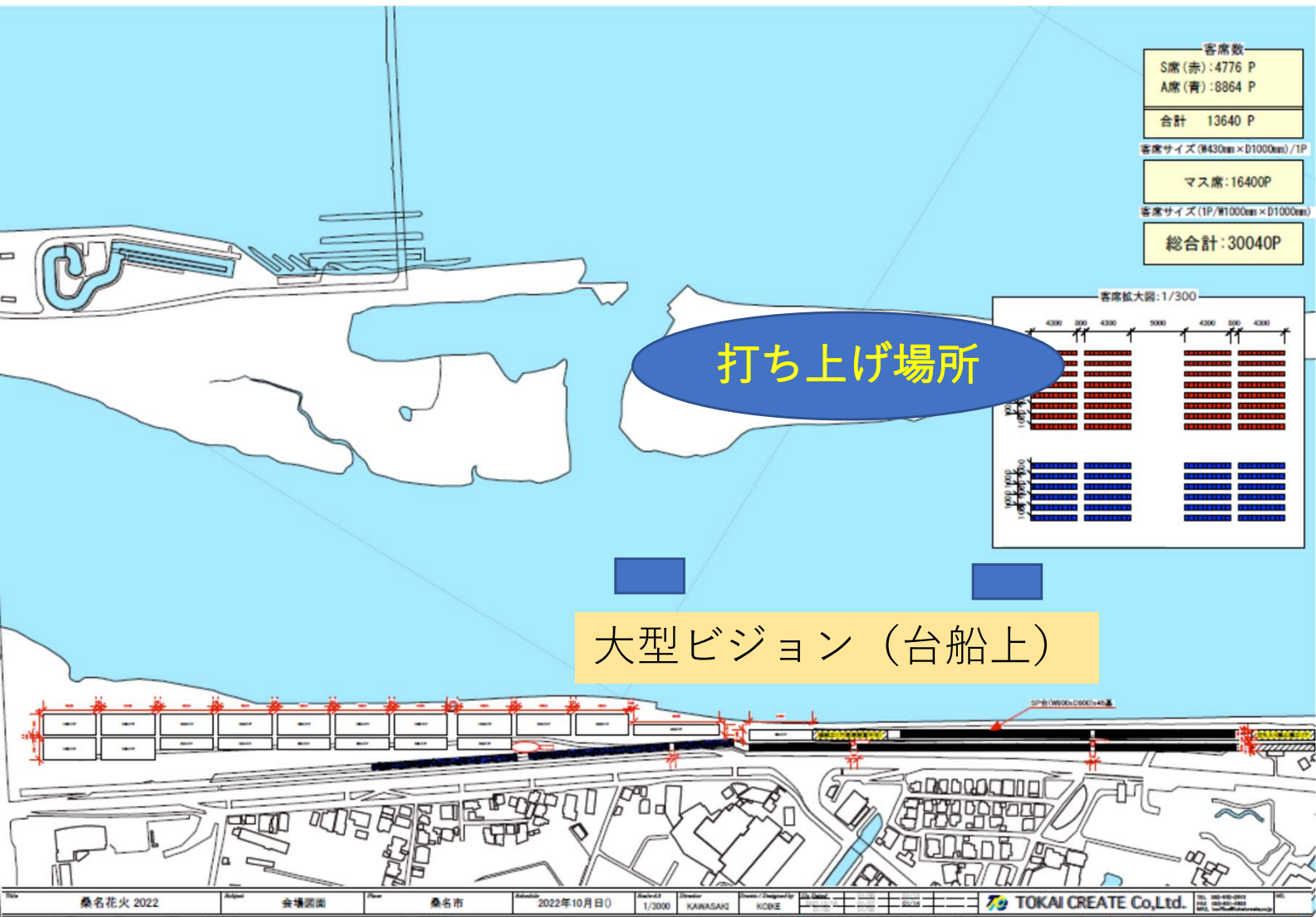
河川敷下席 (無料席)	大橋林	青年館	聖徳堂	興産	大野証券 株式会社 桑名支店 教習主任 名取隆夫	UHO(株)	興産 サンパ ウ	興産 エスエ ス	大野証券 興産	興産 カガク 興産	ノゾル興産 興産	興産 工業 興産	興産 ハンド ドラー サービス 興産	興産 ビルケン コーポ レーション	興産 興産	大野証券 ソラー 興産	興産 興産	興産 興産	興産 興産	興産 興産	興産 興産	興産 興産	興産 興産	興産 興産	興産 興産	興産 興産	興産 興産	興産 興産	興産 興産	興産 興産	
10席	40席	10席	30席	33席	55席	54席	54席	40席	30席	30席	30席	25席	25席	25席	25席	30席	30席	30席	30席	30席	30席	30席	30席	30席	30席	30席	30席	30席	30席	30席	300席

※各席の座席数については、各席の座席数と椅子の数を(計数の外)に追加



招待席・河川敷椅子席入り口

計画 (案)



- 河川に台船の係留
- 中洲へ花火の運搬方法
- 中洲の雑草への延焼防止策

設営スケジュール（案）

桑名花火2022 設営、撤去スケジュール案									
			養生	栈敷、観覧席	イス	トイレ	SP台	テント	
	水	AM	9:00搬入、養生		墨出し	搬入	墨出し		
		PM	必要箇所養生作業		下ブロック搬入		部材搬入	搬入	
	木	AM			搬入		設営開始	設営開始	
		PM			上ブロック設営		設営完了予定	設営完了予定	
	金	AM			残ブロック設営		PA設営？		
		PM							
本番日	土？	AM	開場準備						
		PM(撤去)	客席一部撤去 23:00頃まで？						
	日	AM			全撤去		全撤去	全撤去	
		PM			全撤去		全撤去	全撤去	
	月	AM							
		PM	必要箇所養生撤去			汲み取り後搬出			

会場設営スケジュールのみ

花火打上に関するスケジュールは別途

事業予算（案）

<収入の部>		
I: チケット合計		¥103,950,000
II: 協賛		¥8,000,000
III: parking		
IV: 往復シャトルバス		
合計		¥111,950,000

<支出の部>		
項目		金額
①会場費		¥4,000,000
②場内仮設		¥29,200,000
③ゴミ清掃		¥500,000
④警備		¥6,000,000
⑤看板		¥1,500,000
⑥保険		¥3,230,000
⑦アルバイト		¥5,000,000
⑧演出		¥4,000,000
⑨花火		¥36,500,000
⑩宣伝広報		¥7,600,000
⑪コロナ対策		¥500,000
⑫その他		¥10,100,000
⑬予備費		¥1,870,000
合計		¥110,000,000

<収支>

111,950,000-110,000,000 = 1,950,000 （寄附予定額）

※収入内訳

イス席 @7700 × 0.9 × 10000席 = 69,300,000

エリア指定 @7700 × 0.9 × 5000名 = 34,650,000

協賛

協賛金1000万-代理店手数料200万

開催委員会

制作チーム

- ・ DRC / ユニバーサルミュージック（合）
- ・（株）オン・ザ・ライン
- ・（株）スパークリング

地元チーム

- ・ 三重テレビ放送（株）
- ・（株）サンデーフォークプロモーション
- ・ 他

実行委員会

- ・ DRC / ユニバーサルミュージック（合）
- ・（株）オン・ザ・ライン
- ・（株）スパークリング
- ・ 三重テレビ放送（株）
- ・（株）サンデーフォークプロモーション
- ・ 桑名市観光協会
- ・ 桑名市
- ・ 他

- ・ 駅から会場へのアクセス
- ・ 違法駐車対策・渋滞対策
- ・ 警備計画
- ・ 住民説明会
- ・ コロナ対策
- ・ 県・市の後援依頼（場合によって首長の名誉会長就任など）